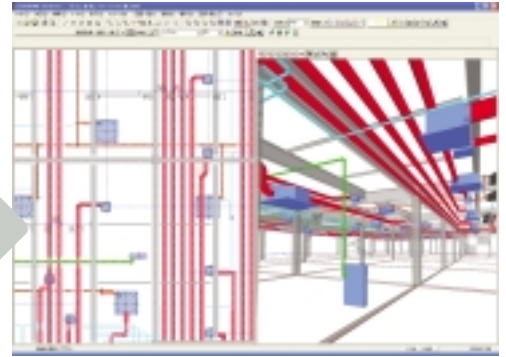


PART 6

>> 新発想で効率化実現! 建設IT導入事例集

東北屈指の設備会社が全社統一CADに選定

直感的に使える操作性とリアルタイム3次元機能



Feature



セコム東北エンタープライズ株式会社

設立●2004年/資本金●1億円/URL●<http://www.secom-tep.co.jp/>「CADEWA Evolution」
株式会社富士通四国システムズURL●<http://www.shikoku.fujitsu.com/products/evolution/>

CADEWA Evolution

厳しい市場環境を勝ち抜くため
新たな全社統一CADを選定

福島県郡山市のセコム東北エンタープライズは、社名のとおりセコムグループに属する総合設備会社である。設立は2004年と若いですが、前身は福島県設備業界のリーディング企業だった東北エンタープライズだ。東北屈指といわれた総合力を生かし、物販/流通の店舗、アミューズメント施設を中心に、設備の設計施工からメンテナンスまでトータルに展開している。取締役の門間道貴氏は語る。

「業界の市場環境は厳しく、競争は激化しています。勝ち残るには、より付加価値の高い特色が必要です。そこで当社では従来の設計施工にメンテナンスを加え、よりトータルなサービスで新市場の開拓を進めています」。この新しい事業戦略の展開において重要なポイントとなったのが、設備専用3次元CAD「CADEWA Evolution」の全社導入だった。それまで別の設備専用CADを使っていたが、新戦略に適應した新たな全社統一CADとしてCADEWA Evolutionの導入を決めたのだ。

「製品選定段階ではもちろん複数のCADを比較しました。そして、2製品まで絞り込んで工事で試用し、現場の声を反映させながら選びました」。選定ポイントは直感的な操作性とリアルタイム3次元、そしてコストだ。技術者が業務のかたわら短期間で乗り換えるには、わかりやすく使いやすい操作性が不可

欠だし、取り合いや干渉を誰にでも容易に伝えられ、変更も瞬時に確認できるリアルタイム3次元の重要さは言うまでもない。そして、50名近い技術者に行き渡らせるには従来のライセンス方式ではコストがかかりすぎるのだ。

「操作性も3次元機能もCADEWAのほうが好評でしたし、WEBライセンスを使って必要最小限の数を算出し、コストも抑えられる。議論するまでもなく、すぐにCADEWA Evolutionに決まりましたね」。

リアルタイム3次元機能と
充実の作図機能が業務を効率化

2006年3月、同社はCADEWA Evolutionを全社統一CADに選定し、ただちに施工現場を含む全社へ配備を開始した。当時、実際に他社設備専用CADからCADEWA Evolutionへ乗り換えた田部勇一氏は語る。

「現場が忙しかったので、2日間研修を受けただけですぐ現場に持ち込みました。2週間は説明書を見ながらでしたが、その後はもうバリバリ使っていましたよ。技術者が直感的に操作できるような操作性なんです。こうしてスムーズにCADEWA Evolutionに移行した田部氏が、多彩な機能の中でも特に衝撃を受け、気に入ったのがリアルタイム3次元だ。

「作図すればその場でパッとCGを出せる、使い勝手のよい3次元なんです。例えば3次元は配管ラインも見通しやすいので、これで確

認しながら作図を進めれば精度の高いラインが素早く作れ、手戻りも確実に減ります。また間接照明の多い現場でしたが、電気工事会社との取り合い確認など、現場での打ち合わせも非常にスムーズに進みました」。設備に特化した数々の専用機能も、威力を発揮したのは言うまでもない。特に図面修正に素早く対応できる充実した編集機能やレイヤの自動振り分けは、CADEWA Evolutionを導入した最初の現場からフル活用され、田部氏の作図業務全体を効率化した。

「使い始めて1年経ちませんし、未使用の部分も多いので、次の現場でこうした未知の機能を積極的に試すつもりです。作図時間をどこまで短縮できるかととても楽しみです」。そんな田部氏の言葉に門間氏もうなずく。

「私は材料集計機能を活用させたいと考えています。拾い/積算の連携を確立すれば、設計/積算/受注/工事/メンテナンスに至る一連の流れを実現でき、当社にとって大きな意義が生まれます。富士通四国システムズにもいっそうの協力を期待したいですね」。

>> User of this PRODUCTS

セコム東北エンタープライズ株式会社
取締役(業務担当)
門間道貴氏工事部 工事第二課
田部勇一氏